



問 「小さな政府、安い税金」を目指す事務事業評価について問う

トランプ大統領が「政府効率化省」を設置し、「小さな政府、安い税金」を目指して、政府の業務を見直し、無駄な支出を抑えていこうとしている。行政には、民間のような競争原理が働かないため、業務を見直し、改善につなげる自己点検が一層重要となる。自らの業務を見直し、無駄を削減するための重要な取り組みである事務事業評価について、津市の現状と課題を問う。

答 津市では平成20年度から事務事業評価に取り組んでいる

津市では、事業の達成状況を自ら把握し、事業をより効率的に実施するため、平成20年度から事務事業評価に取り組んでいる。令和3年度からは津市総合計画の進捗管理と一体的に実施することとし、総合計画に位置付ける施策の内容に基づく主な事務事業を対象に実施している。また、職員の気づきや意見に基づき評価シートを柔軟に見直すなど、可能な限り効率的に実施し、職員の事務負担の軽減を図るとともに、担当責任者や若手職員を対象とした行政評価セミナーを継続的に実施することで職員全体の意識とスキル向上に取り組んでいる。

その他の質疑・質問

- 白塚・栗真地区など広範囲に影響を及ぼした「水道管等破損事故」について
 - 水道水の断水および濁り水の原因の詳細について
 - 大災害に備えた「防災無線の改善」「インフラの老朽化対策」について
 - 防災無線の改善策について

白塚・栗真地区など広範囲に影響を及ぼした水道管破損事故での給水活動



問 水道工事発注と職員逮捕の問題で人事異動させなかった理由は

津市水道事業における維持、修繕業務に係る問題で職員が逮捕された件について、問題の中心と考えるのは、技能員の人事異動が長年されなかったことである。令和7年2月19日付の業務改善の取り組みについての文書の中でも改めるとしているが、なぜこれまでできなかったのか。また、人事の任命責任はたどれば市長にあるが、市長の人事的な責任についてどう考えているのか。

答 昭和の時代から続く人事体制を普通のことと認識していた

技能員の長期在籍については、昭和の時代から続けられており、それが技能員の仕事だと認識してきたが、ここに今回の問題の原因があるということが分かったため、今後は技能員としての技能を伝承しながら、しっかりとジョブローテーションを行い、市民に迷惑がからない体制を構築していく。

また、人事権については、上下水道事業管理者にあるが、これまで上下水道事業管理者に対して、市長部局として提案や調整をしてこなかったということにおいては、市長にも責任があると思っている。

その他の質疑・質問

- デマンド型交通の導入をどこまで計画し、議会や市民にはどう伝えてきたか。実証実験の状況は
- 津市応急クリニックの年末年始の混雑状況は
 - 受付が屋外で長蛇の列になったことへの対応は
- 一身田・白塚などで発生した濁水事故の対応は
- あおう温泉の長期休業の要因と対応について
- 河芸地域の建設発生土処分事業の状況は

デマンド型交通実証実験の該当地域だけでなく議会や市民に準備状況をこのように案内すべき

